

と昔まえ、老いも若きも男も女もハマーに憧れた。が、どうかは知らないが、あの爆発的増殖からもう10年が経つ。今や新車生産までが終了したことで、ストリートからは姿を消しつつある。

だが、だからこそ今ハマーである。当時、金に糸目を付けずにイジリ倒した個体が、中古車市場に出没し始めた。かつてはひと声3000万円のフルカスタムカーが、今ではサンケイ台に落ち着くことも珍しくない。

その筆頭がこれ。全長5.52mにまで伸ばしたストレッチリムジンにして、アメリカ屈指のラグジュアリーホイールメーカーのプロデュースモデル「ジオバンナ・エディション」だ。広大なインテリアは、まるで高級ホテルかと思うほど豪華絢爛、至れり尽くせりである。また、エクステリアもびりりとゴージャスに彩られる。ホイールはもちろんジオバンナ「SETTE」、25インチとなる。そのクロームの艶加減や質感は、今なお現役を思わせる。

この個体、ハマーの本拠アメリカでストレッチ化した血統書付きにして、内外装を含めたカスタム費用は2500万円を超えるという。それが今、997万円。初年度登録2006年、走行たったの1.5万kmにして、優等生を振りまいている欧州のプレミアムSUV勢より安いのである。

確かに絶望的に小回りは効かない。入ることのできない駐車場のほうが多いだろう。でもそんなのちっぽけなことだと笑い飛ばせる魅力が、このハマーにはある。最新大柄SUVを無理して買って狭い国土で汗を掻きながらステアリングを回すくらいなら、これを買って余ったお金でドライバーを雇い、自分は後ろでふんぞりかえってやるぞ、というモチベーションにつながる。都心部ならば、約2倍の投資が必要とされるカイエン・ターボやレンジローバー・ヴェノグに乗っても、もはやあんまり目立たないが、このハマーなら確実に自分を主張できる。やっぱりハマーはこうでなきゃ、と思う。👍

# ワイルドドリームジン

## HUMMER H2 Giovanna Edition

Text : 中三川大地 Daichi Nakamigawa  
Photo : 山本佳吾 Keigo Yamamoto

SPEC  
WHEEL : Giovanna SETTE 25inch  
EXTERIOR : BODY STRETCH  
INTERIOR : FULL REMAKE



後ろ姿は  
フツのH2.  
でも...



特筆すべきはストレッチ化だけでなく、「ジオバンナ・エディション」のもと入念に施されたカスタムメニューにある。総カスタム費用2500万円のトータルコーデだ。

OH!  
Stretch!!



全長5.52mを活かして後部座席は実に広い。それも向かい合う4人のためだけに構築される豪華な空間だ。前席とは基本的に完全遮断されており、セパレーター部分に大型モニターが付く。



トランクルームはオーディオシステムと、宝宝箱のような収納のために使われる。オーディオだけでも約600万円だという。「大容量ラゲージがない」ところを逆に誇りたい。

